

富士ダイス株式会社

2018年3月期第2四半期 決算説明資料



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

FUJILLOY

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

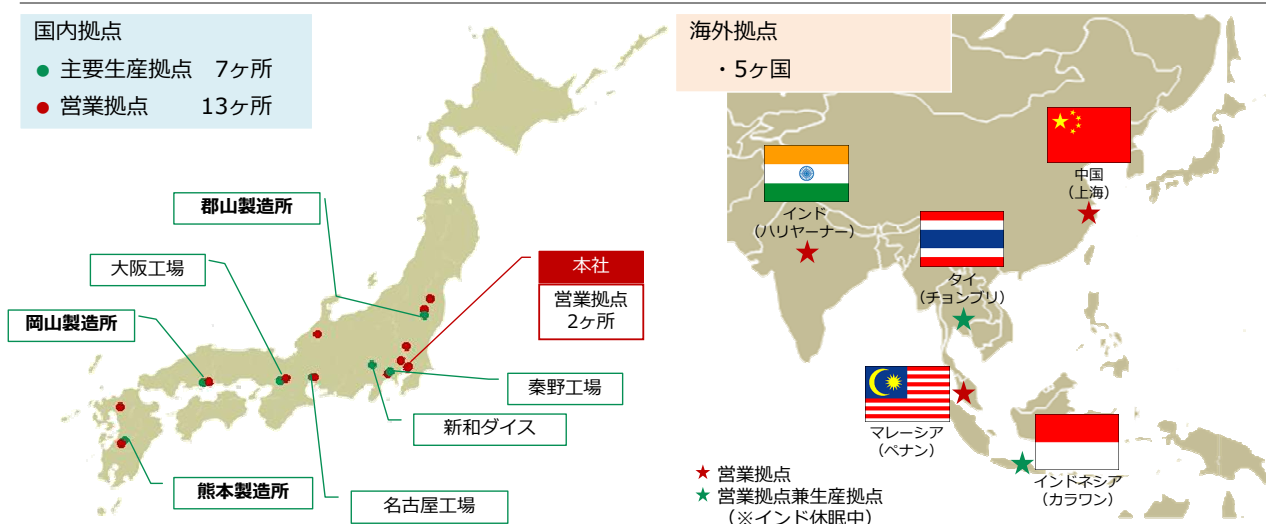
I :	会社概要	2
II :	当社の特長	10
III :	2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV :	2018年3月期 業績見通し	26
V :	成長戦略	30
VI :	参考資料	38

会社概要

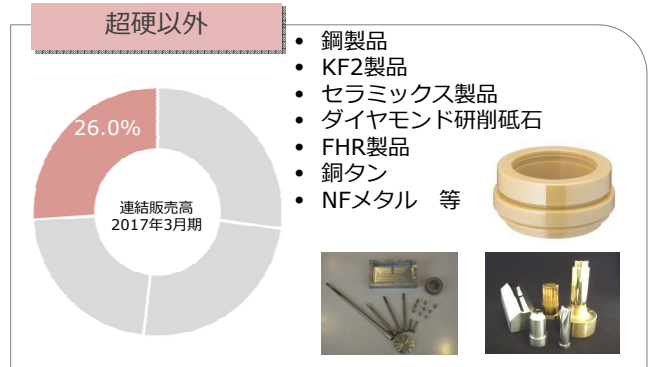
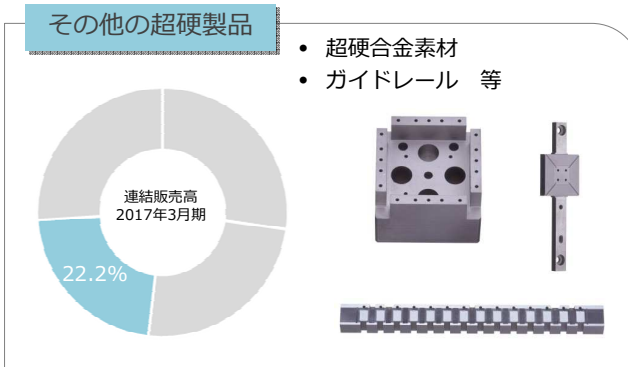
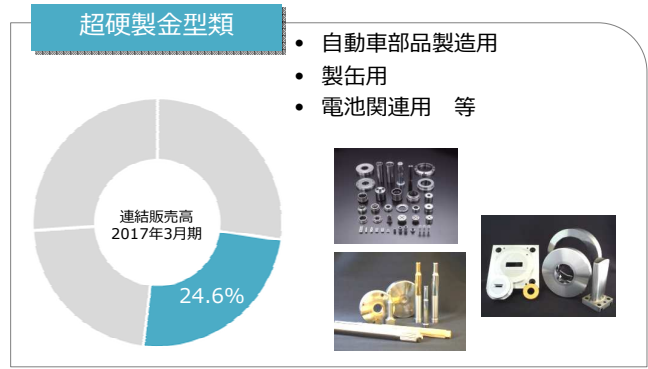
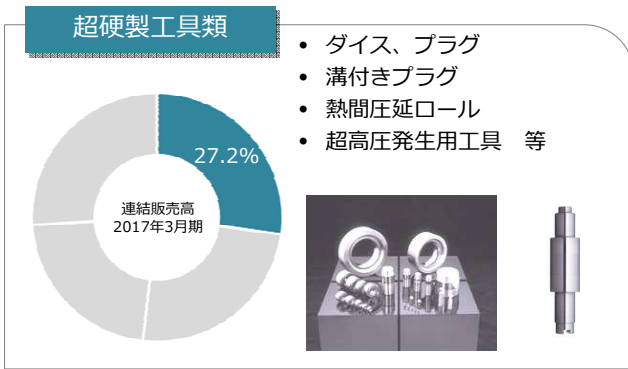
会社概要

商号	: 富士ダイス株式会社	創業	: 1949年6月
所在地	: 東京都大田区下丸子2-17-10	設立	: 1956年4月
資本金	: 164百万円	事業目的	: 超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
代表者	: 代表取締役社長 西嶋 守男	従業員数	: 1,065名 (2017年3月期末、連結)

拠点 (2017年9月30日現在)



■ 超合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化



耐摩耗工具とは？（ダイスとプラグ）

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

代表的な耐摩耗工具 ダイス・プラグ

ダイス
線材、棒、パイプ等の外径を決める工具

プラグ
パイプの内径を決める工具

【ダイス・プラグの使用例】

パイプ

ダイス
引き抜く

プラグ

パイプの内外径を調整している

ダイス・プラグは多くの製品の製造に用いられる

大型

油井管（石油、天然ガス掘削プラント用配管）

産業機械用リニアガイドレール

丸型

異型

注射針

小型

金、白金電気接点（電子部品、点火プラグ）

当社は単純形状から複雑形状、超小型から大型まで対応可能な技術力・設備を有しており国内トップシェアを誇る

- お客様の製造工程における生産性（加工速度や精度）向上に直結する超高精度の工具・金型を提供

当社工具・金型

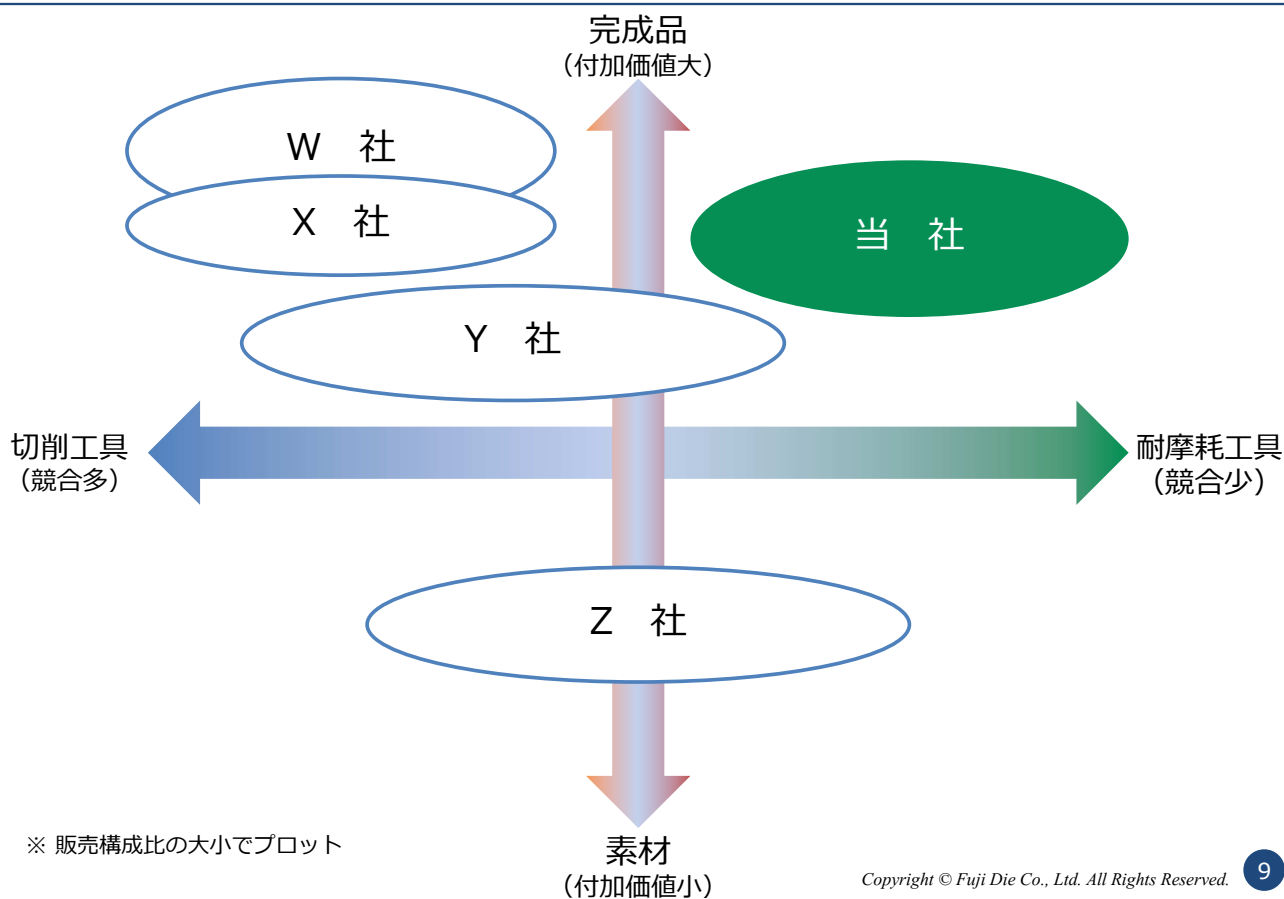


お客様の最終製品例



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

工具業界 ポジショニングマップ（上場企業）



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

当社の特長 ハイライト

POINT1

超硬耐摩耗工具業界で長期に亘り**国内トップ**

POINT2

受注生産・直販体制、**全国をカバー**するネットワーク
取引先は約**3千社**、**業種も多岐**に亘る

POINT3

一貫生産体制により様々なオーダーに柔軟に対応

POINT4

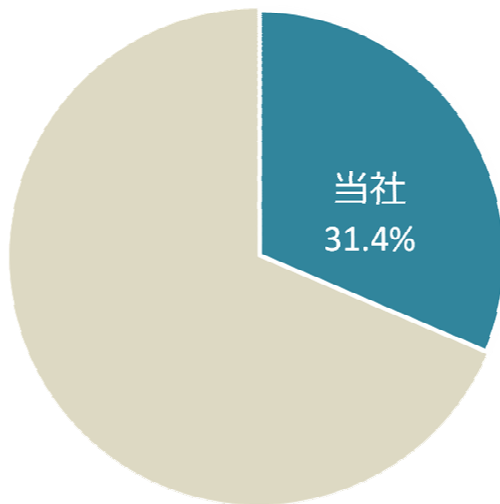
開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

POINT5

堅固な財務基盤

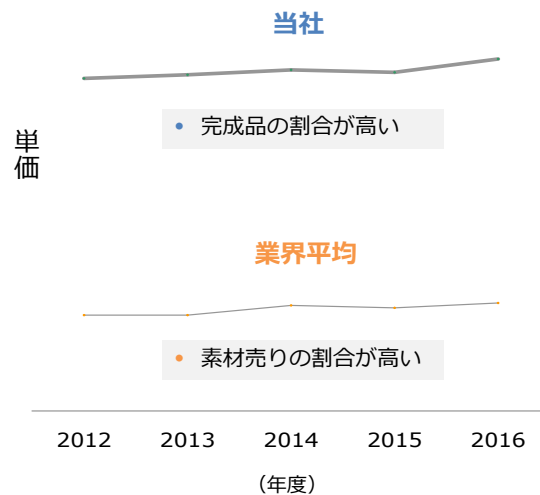
- 国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア**を堅持
- 少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定**して推移

耐摩耗工具国内出荷額シェア（2016年度）



出所：日本機械工具工業会

製品の平均単価の推移



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

- **業界最大**の約100名の営業員による**直接販売網**を構築
- メンテナンス（修理・再研磨）により**高いリピート率**を実現

拠点網（2017年9月30日現在）

主要生産拠点 7ヶ所

郡山、秦野、名古屋、大阪、岡山
熊本、新和ダイス（山梨）

営業拠点 13ヶ所

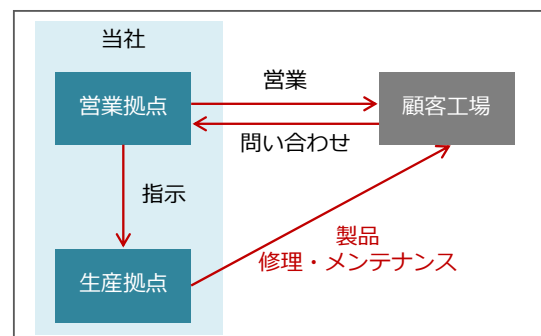
郡山、埼玉、秦野、栃木、東京
岡山、大阪、名古屋、北陸
熊本、門司、本社（輸出部）
富士シャフト（福島）



※2017年5月に門司工場を閉鎖し、生産設備を熊本製造所に移管

顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより、顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能



顧客ニーズ

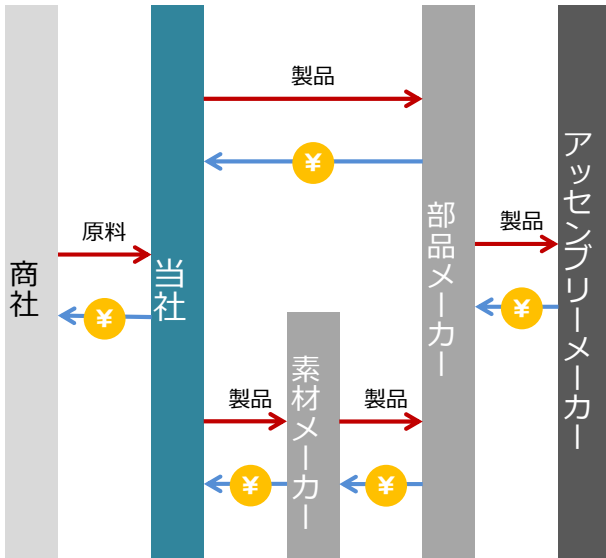
- 製品自体の耐摩耗性や精度の高さ
- 設計思想や生産体制に合った製品

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

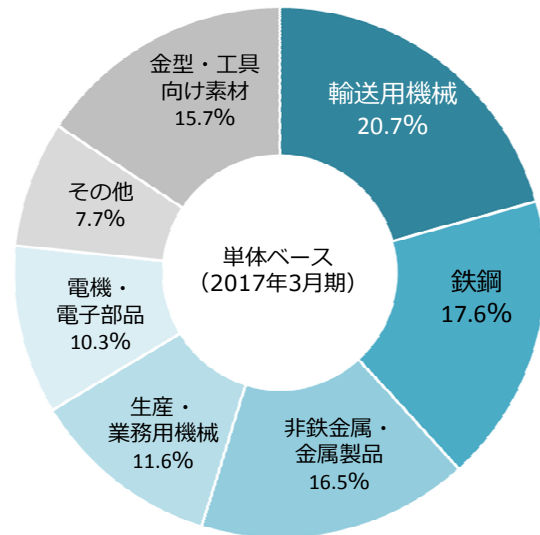
13

- 少量多品種の顧客毎の**カスタムメイド**の**受注生産・直接販売**を行う
- 取引社数は**約3千社**、**業種も幅広い**
- 特定の系列に属さない**独立系**のため様々な業界、企業と取引が可能

事業フロー



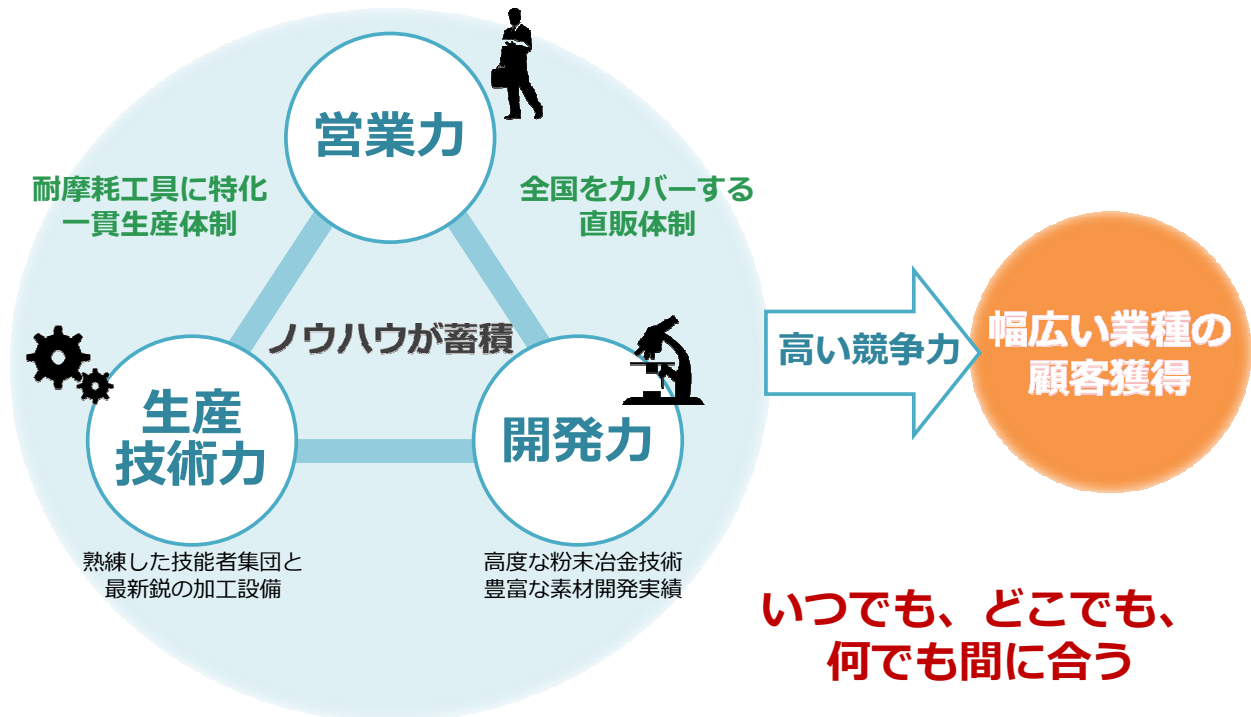
顧客産業分類別売上構成比率



- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで**一貫した受注生産体制**
- **高度な粉末冶金技術と加工技術**
- 様々なオーダーに対し**柔軟に対応**が可能（多品種・少量生産）



- 開発力、生産技術力、営業力が相まって、高い競争力を創出

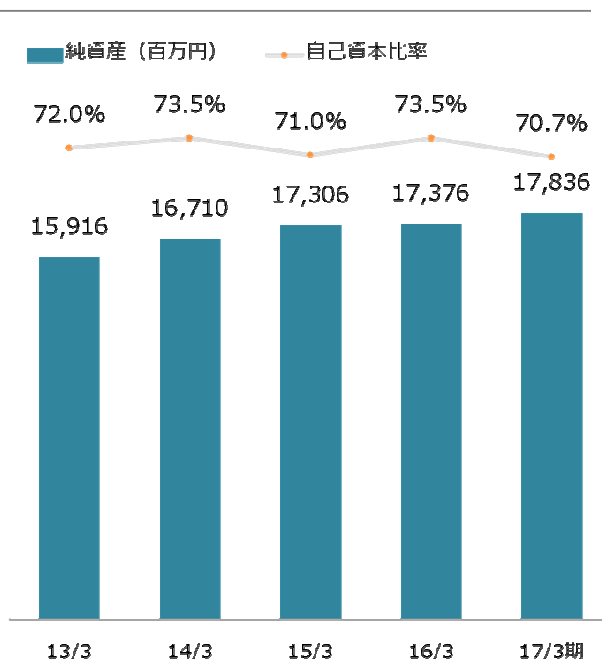


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

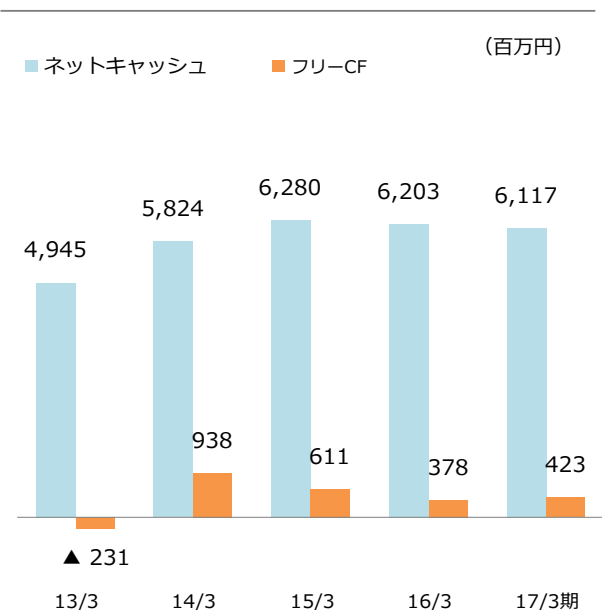
16

- 創業以来現在に至るまで黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

純資産・自己資本比率推移



ネットキャッシュ残高・フリーCF推移



※ネットキャッシュ = (現預金 + 有価証券) - (短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

17

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

2018年3月期第2四半期の総括

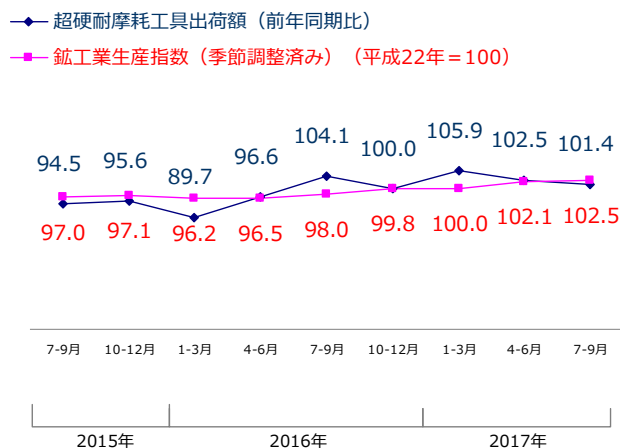
連結売上高	8,803 百万円	(前年同期比 107.4%) (計画比 104.7%)
連結営業利益	787 百万円	(前年同期比 131.7%) (計画比 151.3%)

- 売上高、営業利益ともに前年同期及び計画を上回る順調な進捗
- 需要分野別では“輸送用機械”向けや“金型・工具向け素材”、“電機・電子部品”向け工具が好調に推移した
- 利益面では、売上高の伸張に加えて稼働率の向上による原価低減等により、前期から大幅な増益となった

※2017年4月12日に東証1部に指定変更

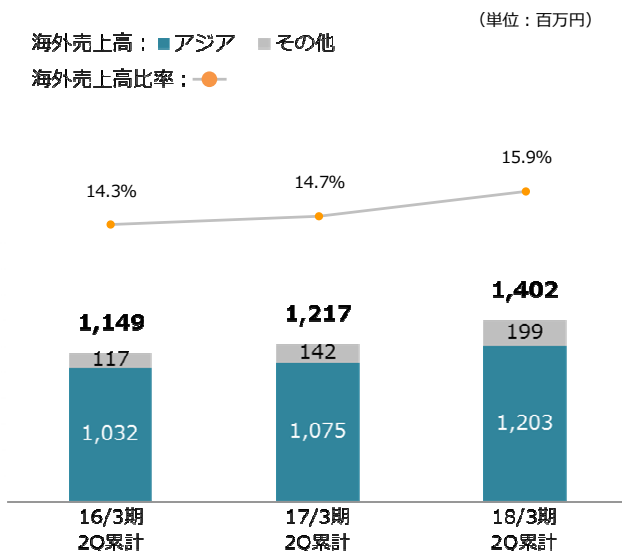
- 鉨工業生産指数は緩やかな上昇傾向が続く。今年度に入り、超硬耐摩耗工具出荷額も前年同期を上回る水準が継続しているが、2017年1-3月をピークとして、その勢いはやや鈍化傾向にある
- 海外売上高は前年同期比15%増と増収基調に回帰。タイ、中国向けが力強い動き

超硬工具出荷額推移



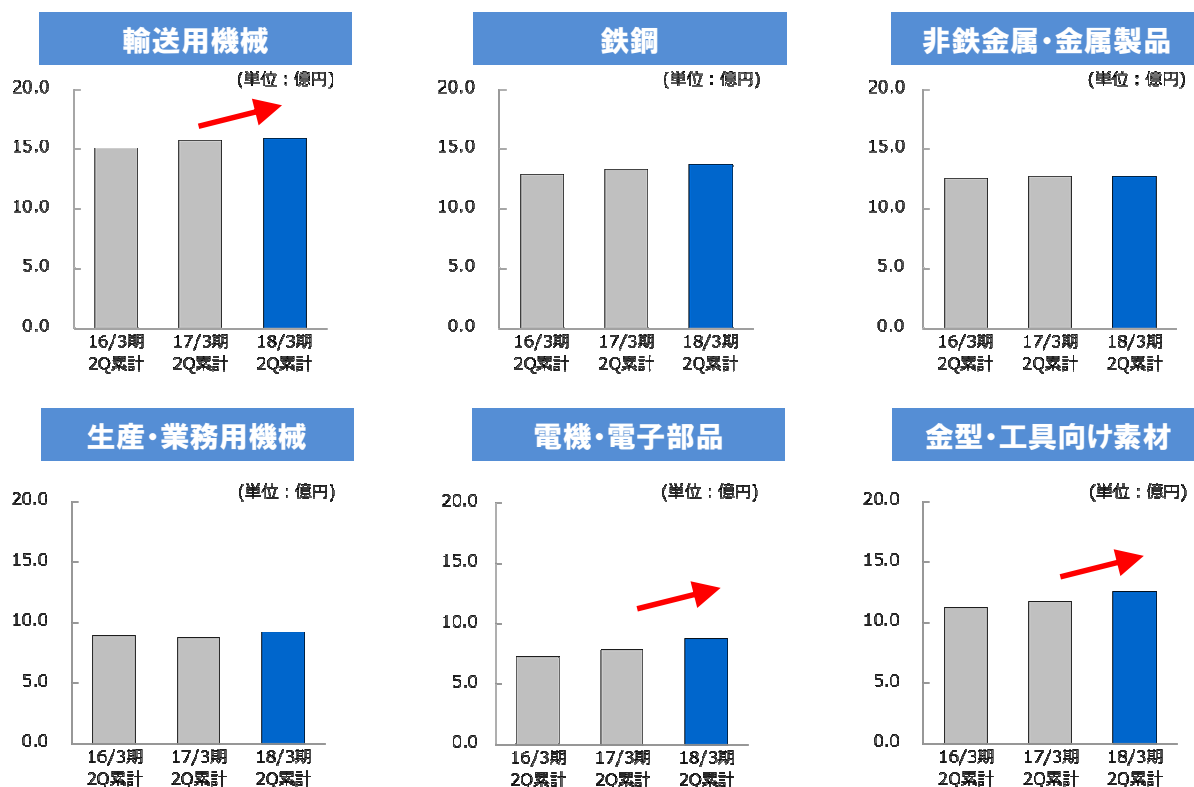
出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鉨工業指数』

海外売上高・海外売上高比率推移



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

顧客産業分類別状況 (単体ベース、売上高)



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期第2四半期累計	
			前年同期比
売上高	8,193 (100.0%)	8,803 (100.0%)	107.4%
超硬製工具類	2,157 (26.3%)	2,345 (26.6%)	108.7%
超硬製金型類	2,108 (25.7%)	2,075 (23.6%)	98.4%
その他の超硬製品	1,782 (21.8%)	1,954 (22.2%)	109.7%
超硬以外	2,145 (26.2%)	2,427 (27.6%)	113.2%
売上総利益	2,073 (25.3%)	2,342 (26.6%)	113.0%
販管費	1,475 (18.0%)	1,554 (17.7%)	105.4%
営業利益	597 (7.3%)	787 (8.9%)	131.7%
経常利益	574 (7.0%)	788 (9.0%)	137.1%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	398 (4.9%)	577 (6.6%)	145.0%

主な増減要因

▷売上高

●**超硬製工具類**：冷間フォーミングロール、混錬工具、超高压発生装置用工具の販売が好調。

●**超硬製金型類**：自動車部品生産用金型は堅調に推移したが、製缶金型や光学素子成形用金型が前年度の特需の反動減により減収。

●**その他の超硬製品**：スマートフォン部品生産用及び粉砕機用の刃物素材、自動車部品生産用金型向けの超硬合金チップが堅調に推移。

●**超硬以外**：混錬工具やセラミックス製の治工用具用素材、子会社が製造販売する引抜鋼管が堅調に推移。

▷営業利益

売上総額の拡大、稼働率の向上による原価率の低減等により大幅に増加。

▷経常利益

減収要因となる為替差損等の影響少なく拡大。

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

22

連結貸借対照表サマリー

(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期末	2018年3月期第2四半期末	
			前期末比増減
流動資産	14,056 (55.7%)	13,885 (55.5%)	▲171
固定資産	11,188 (44.3%)	11,117 (44.5%)	▲71
資産合計	25,245 (100.0%)	25,002 (100.0%)	▲243
流動負債	5,545 (22.0%)	5,202 (20.8%)	▲343
固定負債	1,863 (7.4%)	1,811 (7.2%)	▲52
負債合計	7,409 (29.3%)	7,013 (28.0%)	▲396
純資産合計	17,836 (70.7%)	17,989 (72.0%)	+153
負債・純資産合計	25,245 (100.0%)	25,002 (100.0%)	▲243

主な増減要因

▷流動資産

現金及び預金 ▲547
受取手形及び売掛金 +225
仕掛品 +167

▷固定資産

建物及び構築物 ▲127
機械装置及び運搬具 ▲49
工具、器具及び備品 +75

▷流動負債

支払手形及び買掛金 +301
未払費用 ▲484
その他（設備支払手形等） ▲679

▷純資産

利益剰余金 +137

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

23

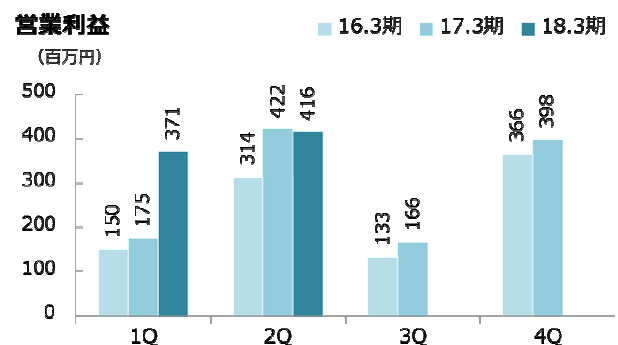
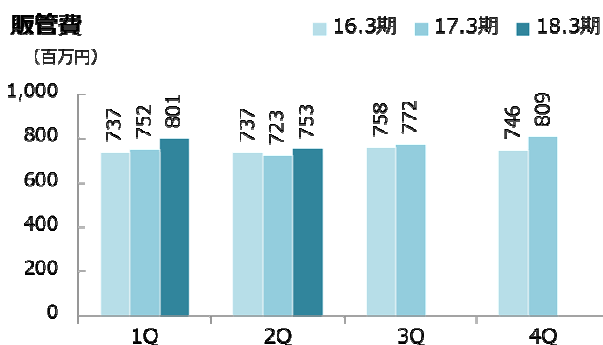
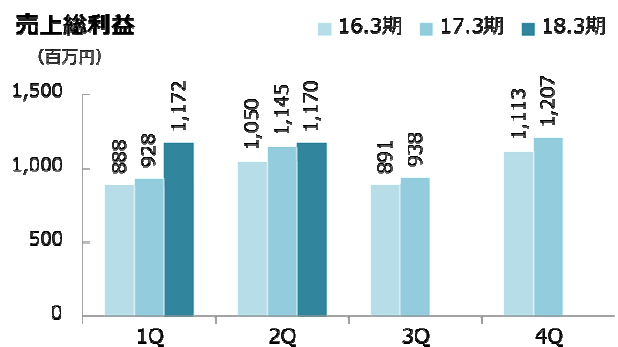
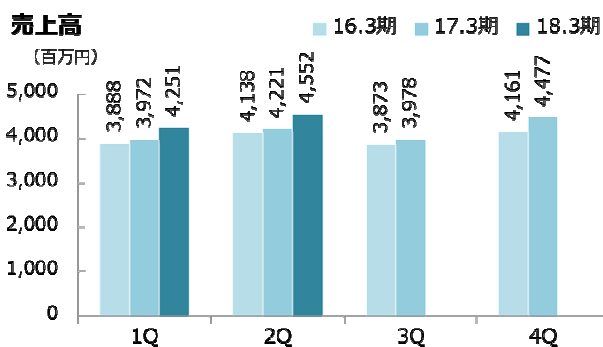
(単位：百万円)

	2018年3月期第2四半期累計
現金及び現金同等物期首残高	6,506
営業キャッシュフロー	1,166
投資キャッシュフロー	▲1,209
財務キャッシュフロー	▲507
現金及び現金同等物期末残高	5,948
フリーキャッシュフロー	▲43

主な内容

- ▷ 営業キャッシュフロー
税金等調整前四半期純利益 788
減価償却費 510
賞与引当金の増加 546
売上債権の増加 ▲226
たな卸資産の増加 ▲201
未払費用の減少 ▲483
- ▷ 投資キャッシュフロー
有形固定資産の取得 ▲1,195
- ▷ 財務キャッシュフロー
配当金の支払額 ▲440

四半期業績推移



	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

顧客産業分類別 市場動向と当社の取り組み

需要分野	市場動向と当社の取り組み	前期動向	今期見込み
輸送用機械	環境対策車および次世代自動車向けの部品成形用金型を積極的に取り込んでおり、前期比増を見込む		
鉄鋼	国内高炉メーカー向け工具の更新が増加。新興国向けの需要は減少も前期比並みを予測		
非鉄金属・金属製品	当社主力製品のひとつである飲料缶の成形金型は微減、家電向け非鉄金属加工用工具の増加を見込み、前期比微増を予測		
生産・業務用機械	半導体製造装置向け部品や金属加工用装置向け金型、高圧関連工具が増加するも、光学機器用金型は減少、全体では前期比横ばいを予測		
電機・電子部品	磁石、電池向け金型は前期並みだが、半導体素材の成形工具の増加により全体では前期比微増を予測		
金型・工具向け素材	超硬素材はアジアを中心に、超硬以外の素材に関しては、特殊用途セラミックスを中心に国内での拡販を進め、全体では前期比並みを見込む		

- 進捗は順調だが一部製品の在庫調整等の動きもあり期初計画を据え置く
- 熊本製造所のフル稼働に伴う減価償却費や修繕費等の増加により営業減益見通し

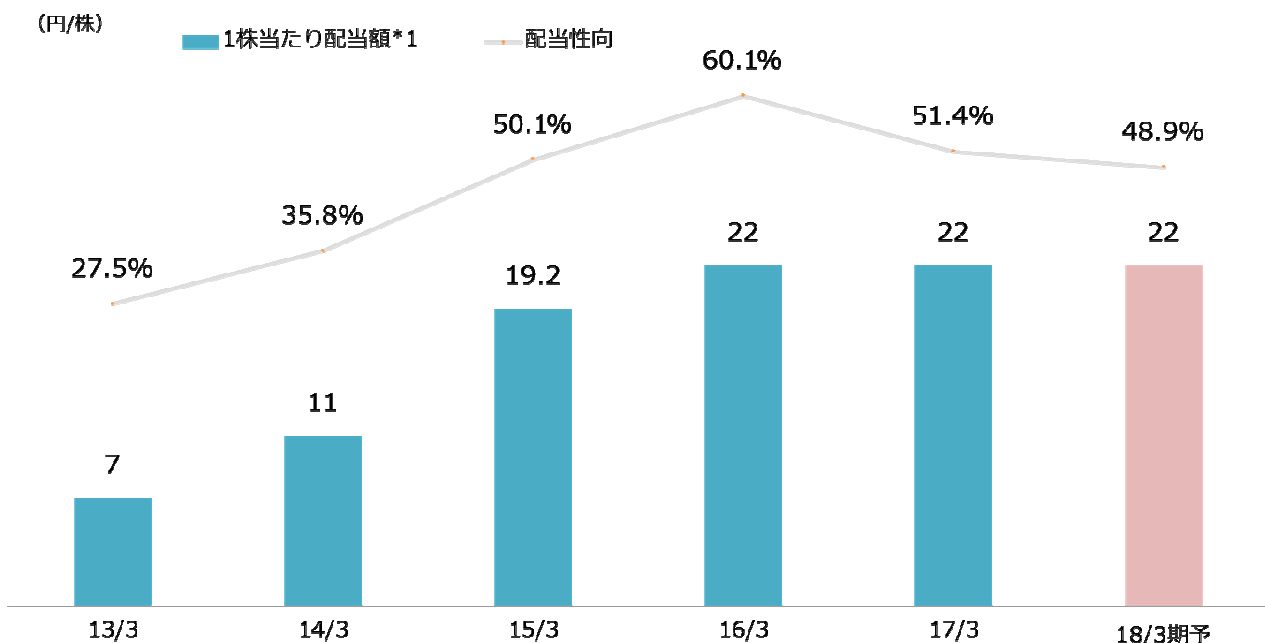
(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期	2018年3月期	
		計画	前期比
売上高	16,648 (100.0%)	16,868 (100.0%)	101.3%
営業利益	1,161 (7.0%)	1,110 (6.6%)	95.6%
経常利益	1,194 (7.2%)	1,214 (7.2%)	101.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	855 (5.1%)	900 (5.3%)	105.2%
設備投資	2,488	1,401	56.3%
減価償却費	1,007	1,121	111.2%

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元方針

連結配当性向を50%を目処に適切な利益配分を実施



*1：15/1に1→100の株式分割を実施。遡及値。

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

成長戦略

POINT1

業務の効率化による収益率の向上

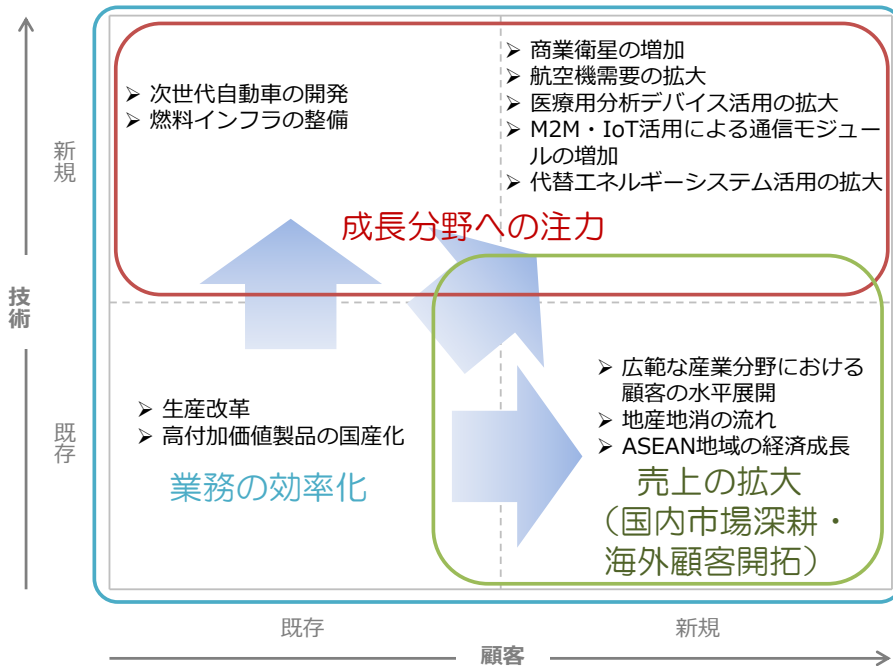
POINT2

売上（国内・海外）の拡大

POINT3

成長分野への注力

- 持続的成長を目指し、恒常的に業務の効率化を進め、国内市場の深耕、および経済成長が見込まれるアジア地域を中心とした海外売上の拡大を図るとともに、成長分野への研究 開発に注力していく



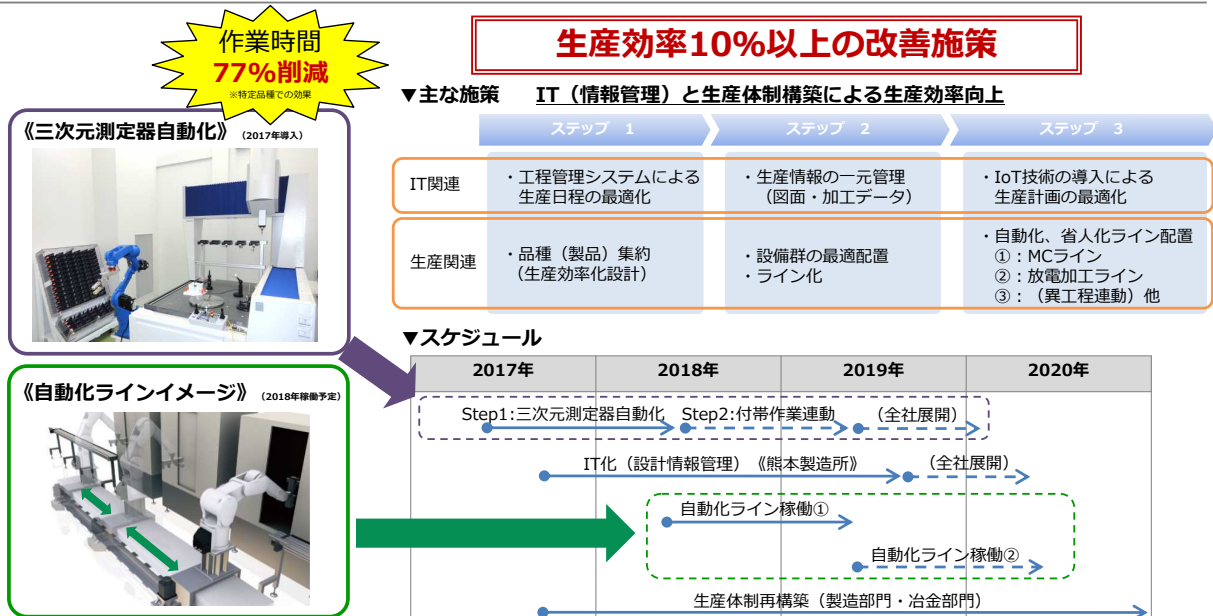
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

POINT1

業務の効率化による収益率の向上

- 国内製造部門における生産特性を考慮した生產品種（製品）再構築
- IT化による各種情報の一元化
- 生産の自動化や省人化などの生産工程の効率化

《生産部門の取り組み》



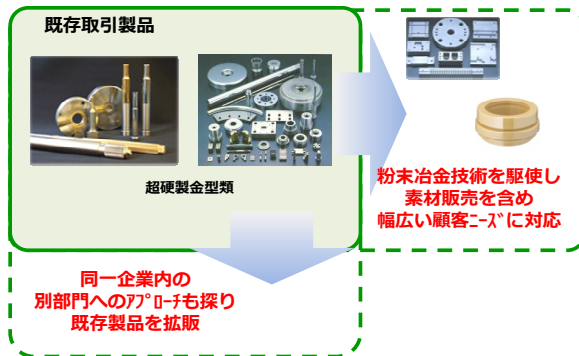
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

- 当社製品と親和性の高い産業分野の販売強化（水平展開）
- 技術優位性（粉末冶金・微細加工）を活かした**新分野参入、新材料開発**
- インターネットを活用した**デジタルマーケティング**

注力分野への営業強化

- 1社当たり売上高の極大化を意識し、当社製品との親和性の高い輸送用機械、生産機械分野への営業人員の配置を強化
- 当社技術及び業界技術に精通した技術サービス部と連携を深め、既存製品の枠に捉われないことなく、顧客ニーズの深掘りを図る

■ 1社当たりの売上拡大（イメージ）



デジタルマーケティングの取り組み

- 当社が製造する主要製品（工具・金型）の使用方法、それらの活用事例、関連技術に関する動画を作成し、2017年1月から公開
- 今まで接点がなかった企業から、インターネットを介した引き合いが増加

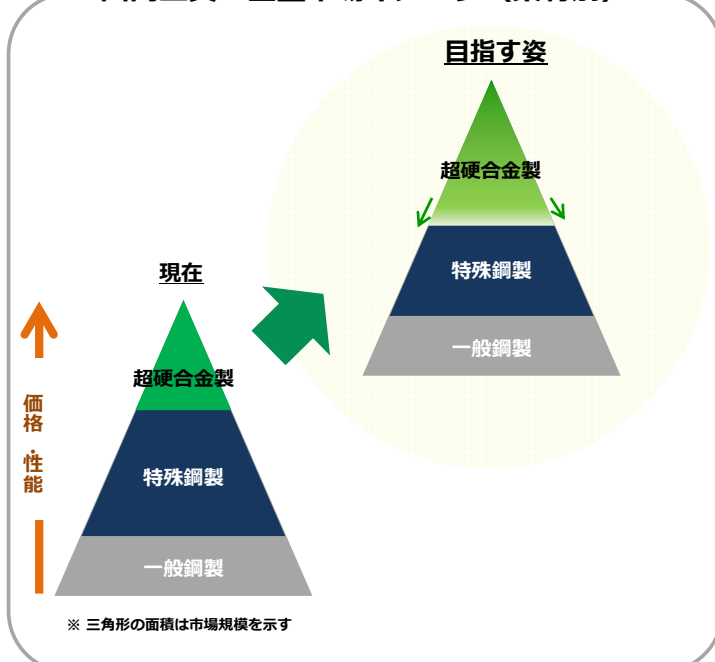


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

34

- 超硬合金の性能の高さを改めて訴求し、国内市場の拡大を図る

国内工具・金型市場イメージ（素材別）



【超硬合金と特殊鋼の特性比較】

	超硬合金	特殊鋼
硬 度	○ 特殊鋼の約2倍	▲
製品寿命	○ 特殊鋼の5~10倍	▲
縦弾性係数 (変形しにくさ)	○ 特殊鋼の2~3倍	▲

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

35



※売上構成比は、日本以外の売上高に占める上位6カ国の構成比（日本からの輸出+現地法人分、2016年度）

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

36

成長分野の進捗状況

分野	概要	素材	優位性	進捗状況	販売時期(予定)		
					2017年	2018年	2019年
次世代自動車	①モーター用抜き金型	①超硬合金	①材料技術	①サンプル出荷	→	→	→
	②車載電池用金型	②超硬合金	②加工技術	②販売中	→	→	→
	③過給器用機械部品	③複合材料	③コスト低減	③サンプル出荷		●	→
航空・宇宙	①航空機エンジンタービン加工向け工具	①セラミックス	①特許取得	①販売中 (量産体制構築)	→	→	→
	②燃料ポンプ用摺動材	②複合材料	②環境対応	②性能評価中	→	→	→
医療・化粧品	①分析マイクロチップ用金型(μ-流路)	①超硬合金	①加工技術	①サンプル出荷	→	→	→
	②ドラッグデリバリーシステム用金型	②複合材料	②加工技術	②性能評価中	→	→	→
環境・エネルギー	①半導体向け高熱伝導用素材	①複合材料	①特許取得	①サンプル出荷	→	→	→
	②高圧合成法を用いた触媒	②新物質	②特許取得	②サンプル準備中	→	→	→
その他	①赤外線レンズ用金型	①複合材料	①特許出願	①性能評価中	→	→	→
	②高圧発生装置用素材	②超硬合金	②特許取得	②販売中	→	→	→
	③スマートフォン向けガラス成形型加工工具用素材	③セラミックス	③特許取得	③販売中 (量産体制構築)	→	→	→

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

37

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	10
III : 2018年3月期第2四半期 業績概要	18
IV : 2018年3月期 業績見通し	26
V : 成長戦略	30
VI : 参考資料	38

企業理念・大切にしている価値観・長期ビジョン

企業理念

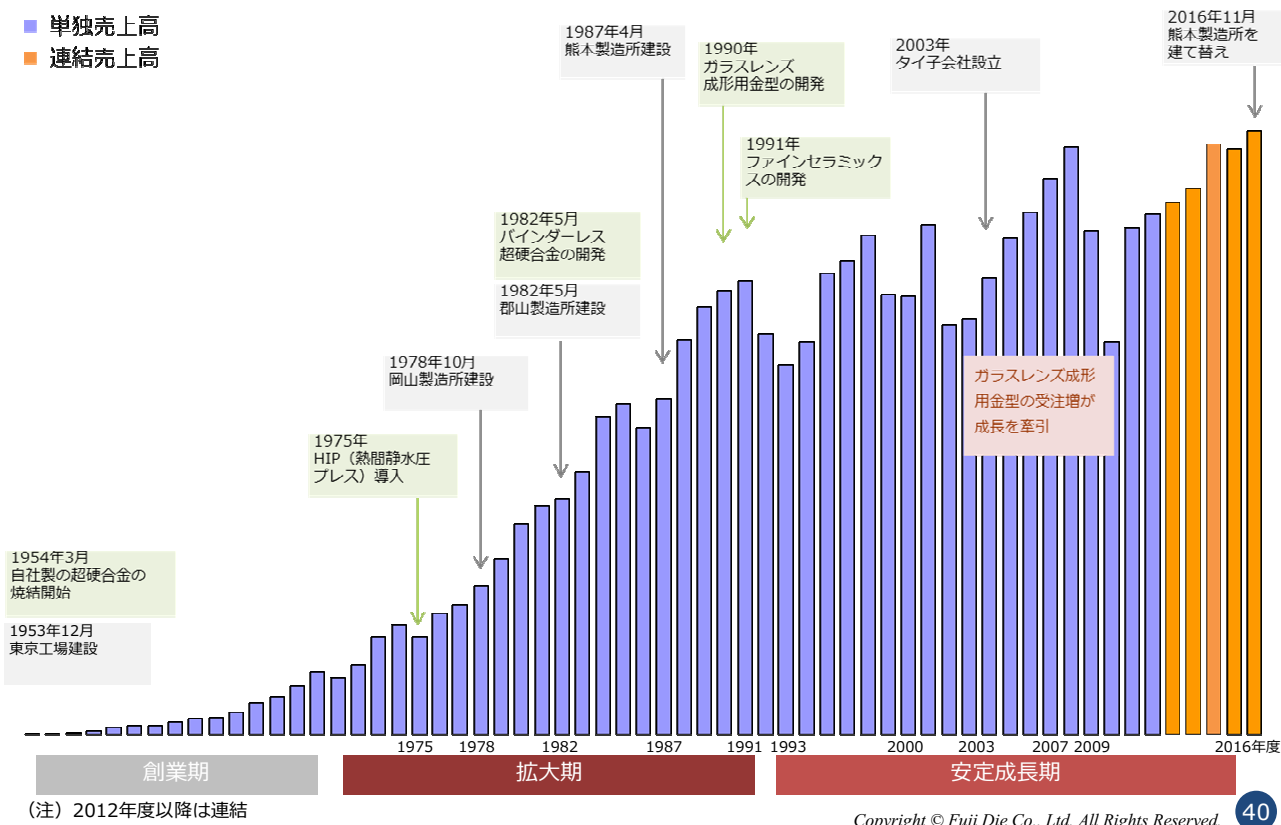
- 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- 人間尊重、人間中心の経営

基本的な考え方（私たちが大切にしている価値観）

- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

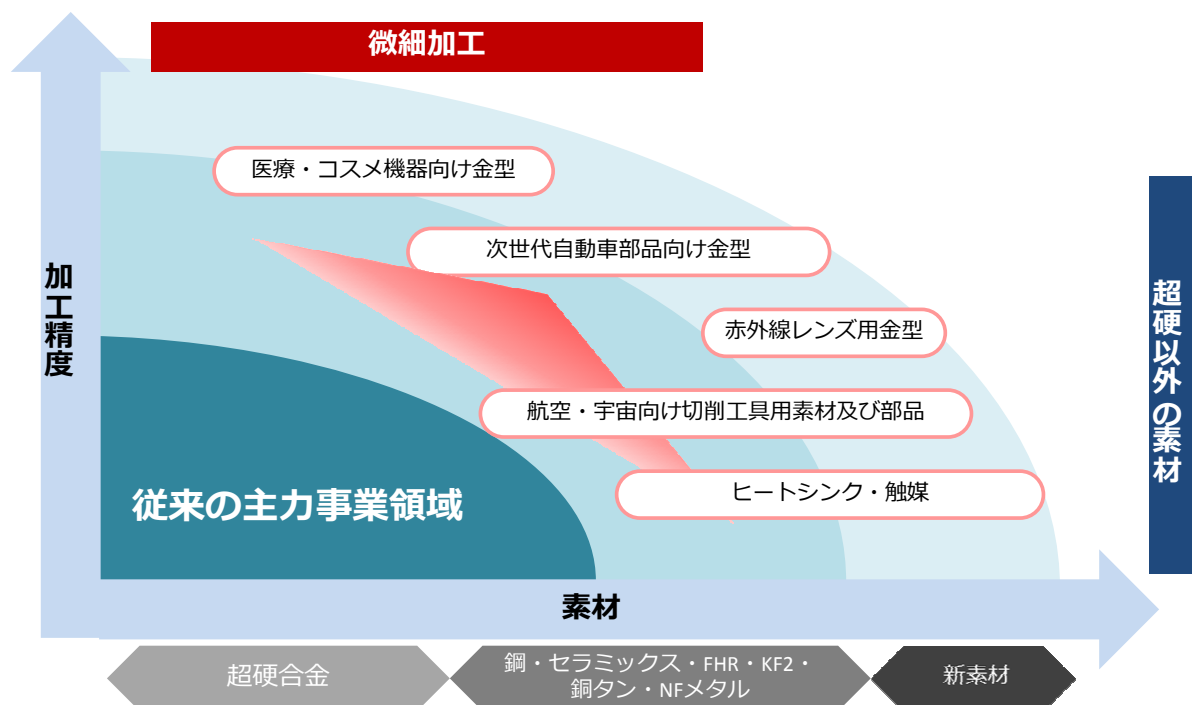
長期ビジョン

- 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
- 品性ある企業グループ並びに企業人

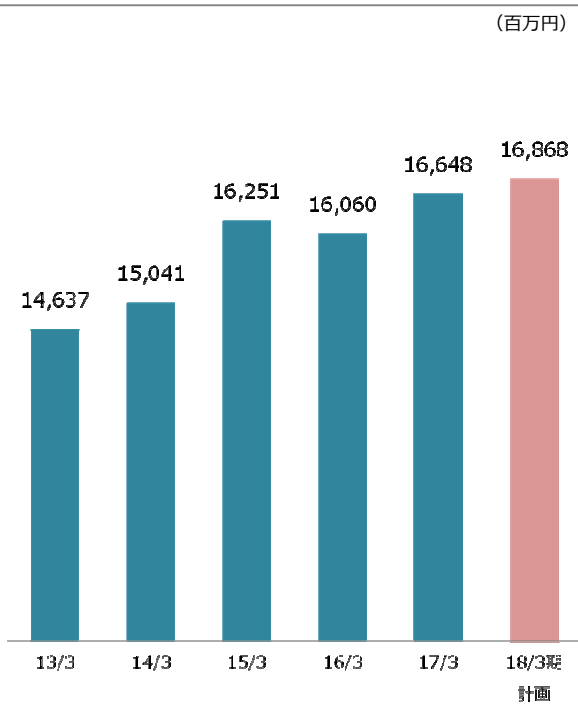


中長期的成長に向けた研究開発の方向性

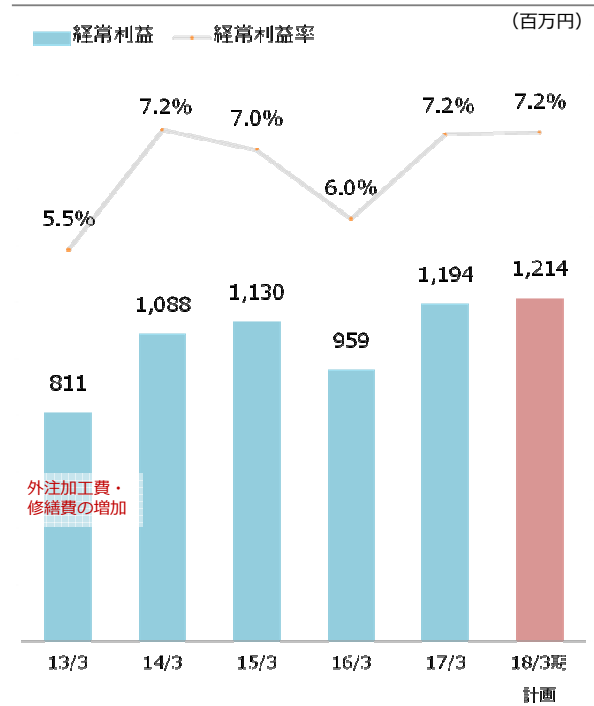
- 粉末冶金技術を駆使した**新材料**の研究開発を強化し、**耐摩耗工具以外**へ進出
- **超精密加工技術**を用いて研究開発を進展させ、**新しい産業分野**を開拓



売上高

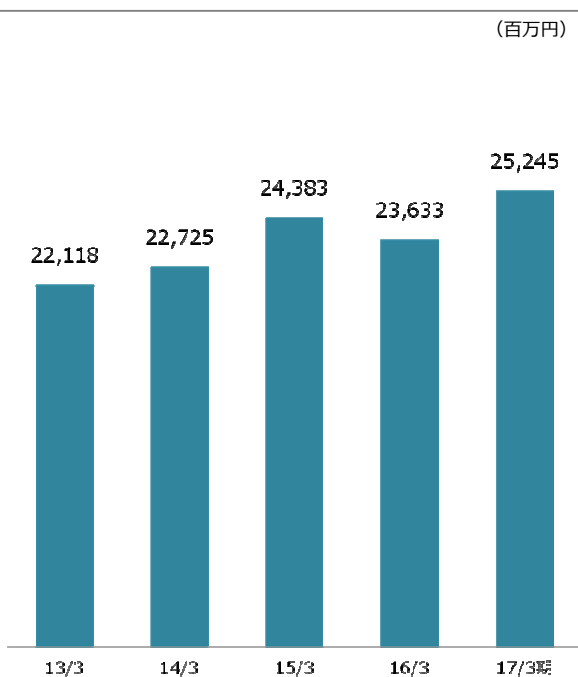


経常利益

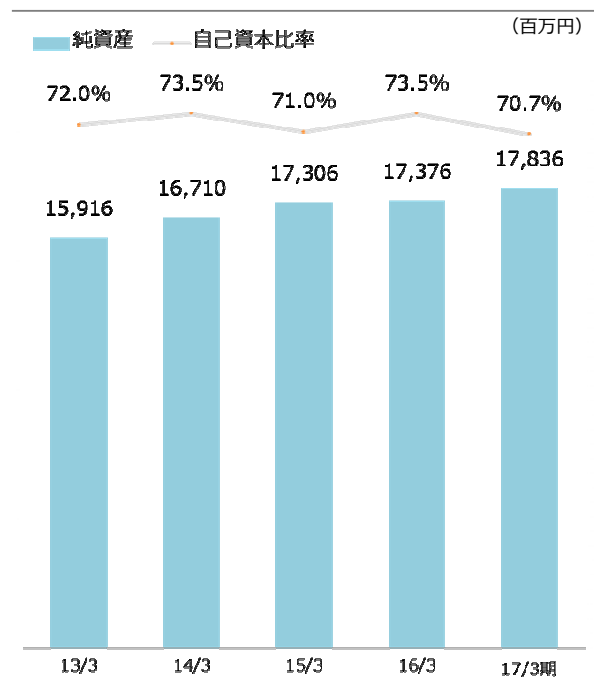


業績の推移 2/3

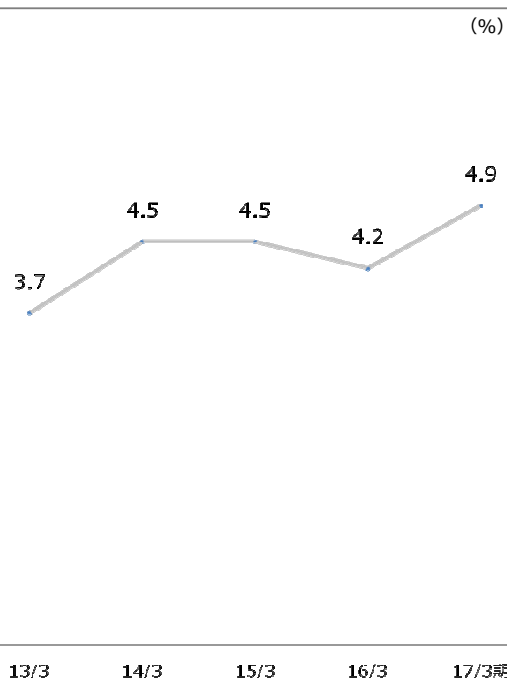
総資産



純資産



ROE



免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性(市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等)が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。